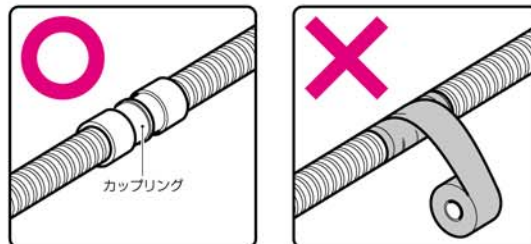


正しい施工を していますか？

管相互の接続は、カップリング
をご使用下さい。



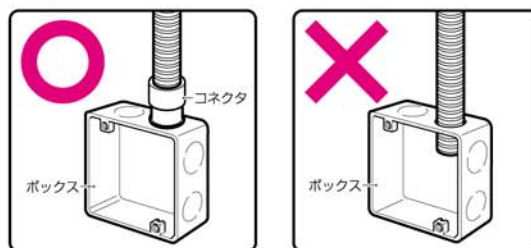
電気設備の技術基準の解釈、第158条・合成樹脂管工事では、

- 「合成樹脂製可とう管相互、CD管相互及び合成樹脂製可とう管とCD管とは、直接接続しないこと」

と定められています。

接続が緩むことによって、電線が露出し破損するおそれがあります。

管とボックスとの接続には、コネクタ
をご使用下さい。



電気設備の技術基準の解釈、第158条・合成樹脂管工事では、

- 「管相互及び管とボックスとは、管の差込深さを管の外径の1.2倍(接着剤を使用する場合は0.8倍)以上とし、かつ、差込接続により堅ろうに接続すること」

と定められています。

合成樹脂製可とう電線管工業会